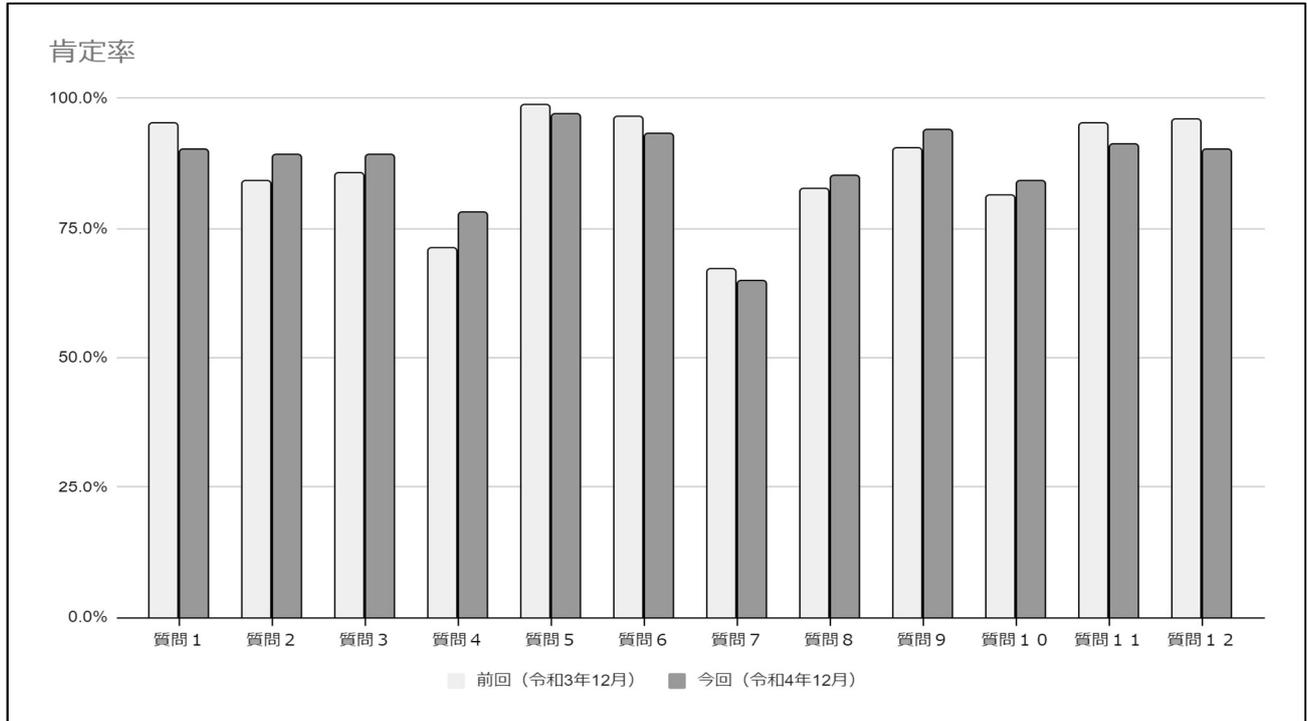


保護者各位

青梅市立霞台小学校
校長 佐藤 広明

よりよい学校づくりアンケートの結果について



質問 1	子供たちは、楽しく学校に通うことができている。
質問 2	学校の授業は充実していると感じている。
質問 3	子供たちは、挨拶やマナー・生活習慣をしっかり身に付けている。
質問 4	子供たちは、安全を意識して歩いたりヘルメットを着用して自転車を運転したりしている。
質問 5	学校は、学校だより・HP・メール等を通じて、学校の情報を伝えている。
質問 6	学校は、学年だより、・学級だより・HP を通じて、子供たちの学校の生活の様子を伝えている。
質問 7	子供たちは、家庭学習の習慣が身につけている。
質問 8	学校は毎週火曜日・水曜日のスタディタイムで、既習 事項を確認して子供たちに算数の基礎・基本の定着を図る努力をしている。
質問 9	学校は、外遊びの励行、大縄週間の取組を通して、子供たちの体力向上に努めている。
質問 10	学校は、学級活動やいじめアンケートの取り組みなど、学校全体でいじめのない学校づくりを進め、対応している。
質問 11	学校は、新型コロナウイルス感染防止の対応を行っている。
質問 12	学校は、新型コロナウイルス対応に即した、工夫した教育活動を実施している。

本年度はコロナ禍の中ですが、保護者の方に学校の教育活動を直接見てもらえるようにぎりぎりまで状況を見極め、実施できた行事が増えました。よりよい学校づくりアンケートも、昨年度同様、保護者の皆さんが回答できると思われる同じ内容で、実施しました。

また、今年度も感染拡大防止と回答のしやすさを考え、オンラインでの回答とさせていただきました。

結果は、昨年度とほぼ同じ傾向で、学校の教育活動に対し、理解をいただいた結果でした。最も肯定率が高かったのは、「問5 学校は学校だより、HP、メール等で学校の状況を伝えている」で、97.1%でした。

コロナ禍で保護者の方々の教育活動を参観する機会が少ない中で、学校からの情報発信が役に立ったということが察せられます。同様に、「問6 学校は学年だより、学級だより、HP等で子供たちの学校生活の様子を伝えている」も昨年より下がりましたが、93.1%と高い肯定率でした。これからもコロナ禍での教育活動が続くと思われまます。他校にない、ホームページを有効活用した、できるだけ多くの視点からの情報発信を続けていきます。

「問11 学校は、新型コロナウイルス感染防止の対応を行っている。」「問12 新型コロナウイルス感染症対策に即した、工夫した教育活動を実施」が91.2%、90.2%の肯定率で、新型コロナウイルス感染対策のため、霞台小学校は他校よりも厳しい感染対策を継続しています。90%を超えていますが、自由意見の中で「学級閉鎖の情報を全校に知らせてほしい」という要望がありました。今後は、学級閉鎖の情報は、学年だけでなく全校にお知らせしていきます。

いじめのない学校づくりと対応(問10)は84.2%と肯定率が増加しました。引き続き、重大な課題であると認識し、安心して通える霞台小学校を目指してさらに努力します。

来年度も子供たちの学校生活は、制限のある状況が続くと思われまますが、一層教育活動を創意工夫して、「子供たちが通いたい学校」をつくっていきます。

学級の授業は充実している(問2)と感じていただいている割合が89.1%と昨年より5%高くなりました。基礎基本の定着を図る努力(問8)に関する部分も85%と昨年より上がっています。コロナ禍でも授業を充実させるため、外部講師や外部機関との連携を図り、タブレットの活用を進め、新しい形の授業に取り組みました。

挨拶やマナー、生活習慣が身に付いている(問3)の割合も89.2%と昨年より上がりました。学校では「あじみこし」を合言葉に学校生活の全てで意識して身に付けられるようにしています。4月に比べ、かなりの挨拶が学校で響き渡るようになってきました。特に低学年は、「こんにちは」と日常的に挨拶ができる子が増え、とても学校内が明るくなってきました。「問4 安全を意識して歩いたりヘルメットを着用したりして自転車の運転をしている」は昨年より7%上がり、79%の肯定率でした。2023年4月1日から全ての自転車利用者にヘルメットの着用が義務づけられることになりました。来年度に向けて安全対策をご家庭とともにさらに進めていきます。

「問7 家庭学習の習慣が身に付いている」は、昨年度よりさらに下がって64.7%で最も低い肯定率でした。学年ごとのデータでは、1年生は82.6%と最も高く、学年による差異が見られました。学年が進むほど、身に付けたい学習習慣が身に付かなくなっていく状況は、学習意欲や理解、学習成果に関わる重要なポイントです。

学校での授業の充実が教員が取り組まなくてはならないことですが、子供たちの自ら学習に取り組む習慣や姿勢は、一人一人の意識です。学校と家庭が協力して学習できる状況づくりを進めていくことが喫緊の課題です。

最後にオンラインの回答になり、回答しやすくなった反面、回答率が低下しました。多くの方々の評価をもとに学校教育活動を見直していくことが必要です。次回は100%の回答がいただけますようご協力ください。

また、たくさんのご意見ご感想もいただきました。全てのデータをまとめ、教職員で共有しました。ご指摘の部分は、これからの教育活動に活かし、対処できることは改善していきます。プラスのご意見は温かく頂戴し、よりよい学校づくりをさらに進めていきます。